

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度上越市美術資料収集委員会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和元年度美術資料の収集について（非公開）
- (2) 今後の美術資料収集計画について（非公開）

## 3 開催日時

令和2年2月17日（月）午前10時30分から

## 4 開催場所

上越市立歴史博物館

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

議題(1)及び(2)については、上越市情報公開条例第7条第2項の個人情報及び同条第4項の意思形成過程情報に該当することから非公開とした。

## 7 出席した者 氏名（敬称略）

- ・ 委員：洞谷亜里佐、松矢国憲、池上秀敏、三浦顕
- ・ 欠席者：本谷文雄
- ・ 事務局：宮崎館長（小林古径記念美術館）、笹川副館長（小林古径記念美術館）、市川主任（小林古径記念美術館）

## 8 発言の内容

開 会

（あいさつ）

（笹川副館長）：本日はご多用のところご出席をいただき感謝申し上げます。今回は本谷委員から欠席の連絡をいただいているが、「上越市美術資料収集委員会設置要綱」第4条第2項の規定により、会議の開催条件を満たしているため、本委員会を開催する。本日の会議は上越市審議会等の会議の公開に関する条例第7条第2項の個人情報及び同条第4号の意思形成過程情報に該当することから非公開である。最初に、今回委員の委嘱があるため、委嘱状の交付を行う。

## 〈委嘱状の交付〉

(笹川副館長) : はじめに宮崎館長があいさつを申し上げる。

(宮崎館長) : 本日はご多用の中お集まりいただき感謝申し上げます。現在整備中の美術館は 2 月末に引き渡し予定であり、建物ができた後は、運営をどうするかという問題に入っていく。作品収集については、昭和 47 年に上越市立総合博物館がオープンした後、美術資料も含めて昭和年代から収集が始まっている。小林古径以外の美術資料は、長らく博物館の管理だったが、小林古径記念美術館がこのたび新しく生まれ変わるにあたり、平成 29 年度に博物館の美術資料を美術館に所管替えした。今後、美術館は小林古径と上越ゆかりの作家の 2 本柱で展開していく。作家ごとの作品数で見ると、ある作家は数十点所蔵している一方、ある作家の作品は全く所蔵していない、という状況である。さまざまな歴史的経緯の中で集まってきた資料であるが、今後は調査を進める中で、収集予算が無い中、委員の皆さんのご意見を頂きながら計画的に収集活動をしていきたいと考えている。

(1) 令和元年度美術資料の収集について (非公開)

(2) 今後の美術資料収集計画について (非公開)

(あいさつ)

(宮崎館長) : 本日はご多忙の中ご出席いただき感謝申し上げます。委員の皆さまから寄贈・所管替え作品について審議いただき、貴重なご意見をいただいた。これから新しい美術館の現場を視察していただくが、これらの作品を展示することを想像しながら見ていただきたい。

(閉会)

9 問合せ先

小林古径記念美術館 TEL 025-523-8680

e-mail : kokei@city.joetsu.lg.jp